



かがやけ！持松っ子

努力貯金で3つの花をさかせよう！
 《やさしさの花 かしこさの花 たくましさの花》



子どもをインターネットから守る必要性

校長 後藤 豊仁
 昭和50年代から、テレビ依存症という言葉聞くようになりまして。今からもう50年ほど前です。

見たい番組があるわけでもないのに、何となくテレビを付けたままにしている。そうする内に常にテレビが付いていなければ落ち着かなくなる。そういった症状です。テレビを見ながら他の作業ができるとまだよいのですが、時に必要だったり関心を持ったりする情報が流れるので、私の場合はそれがなかなかできませんでした。

だらだらとしてあまりにも無駄と思える時間の過ごし方だったので、家族と離れて単身で暮らすようになったことを機に、テレビを置かない生活をするようにしました。

家にテレビがないので、サッカーのワールドカップや高校野球など、どうしても見たい番組がある場合は、面倒でも出かけて見るようにしました。

最初は落ち着かない生活でしたが、そうすることで、次第に時間にゆとりが生まれました。また、やらなければならないことが早めに終わるようになりました。後で調べてみると、テレビ視聴は、情報を一方的に受け入れているだけであり、考えている時に使う脳の前頭前野がほぼ働いていないという研究結果が出ていることが分かりました。

高齢者では、運動不足と合わせてテレビ視聴が長いと認知症を加速させることにもつながるそうです。

テレビを置かなくて正解だったと思いましたが、今は、スマートフォンという新たな道具により、スマホ依存またはネット依存という問題が、特に未成年において世界的に生じています。

ネット依存(スマホ依存)は、ネットやゲーム、SNS(ソーシャルネットワークサービス:LINE、X、YouTube、TikTok等)を過剰に使用し、自分でコントロールできなくなって生活に支障が出る状態のことです。ネット依存の特に恐ろしいところは、その依存

性と脳への悪影響です。アルコールや煙草、覚醒剤がなぜ禁止されたり年齢制限があったりするのかと言うと、正にこの2点に集約されます。

依存が起こる原因は、「楽しい」「嬉しい」といった報酬を脳が感知すると、脳内で快楽物質であるドーパミンが過剰に分泌され、活性化する中で、脳のブレーキが効かなくなることです。

また、感情を司る前頭前野の機能が、ドーパミンの過剰分泌で低下してしまい、依存行動がさらに制御できなくなる、過敏に物事に反応し、イライラしやすくなる、不機嫌になる、集中力が低下するなどの症状も合わせて表れます。

これらは、覚醒剤を使用した時と非常に類似した影響であり、「デジタル麻薬」や「デジタルヘロイン」という言葉が使われるようになってきているそうですので、子どもにとって大変危険なことであると認知する必要があります。

インターネットの世界を創り出すきっかけにもなったWindowsの開発者でありマイクロソフト社の創業者でもあるビルゲイツやiphoneで有名なアップル社の創業者スティーブジョブズは、その依存性をいち早く理解していて、自身の子どもたちから不満が出たにも関わらず、14歳までスマートフォンを持たせなかったという話は有名です。

最新の研究で、その危険性が広く知られるようになったことで、国を挙げてインターネットに規制をかけるようにもなりつつあります。世界でも厳しい規制をかけているのはオーストラリアで、16歳未満はSNSのアカウントが持てません。他にも国が18歳未満のスマホ利用時間制限を設けている中国やアメリカの一部の州、EU、フランスなどが法制化や政策化しつつあり、日本でも香川県が依存症対策として、ゲームは平日60分、休日90分、夜間は9時(10時)までという条例をつくり、県を挙げて対策に乗り出しています。

現代社会において必須であり、適切に使用することで豊かな情報を与えてくれるインターネット。しかし、その使い方については、子どもが大人になるまで十分に気を付けていく必要があります。

入賞おめでとう!

○ 第10回ふるさと霧島カルタ選手権

団体戦 準優勝 「ニコニコ」チーム
 (松田 笑 赤崎 陽菜 長友 桜叶)
 4位 「スカイ」チーム
 (藤倉 九重 松田 月穂)
 個人戦(上学年の部) 優勝 松田 笑

○ 鹿児島県児童生徒ゆめ 立体・彫刻展

鹿児島県教育委員会賞	3年	長友	桜叶
南日本放送賞	6年	松田	笑
特選	1年	徳永	唯華
	4年	西野	譲太郎
	3年	藤倉	九重
	4年	赤崎	陽菜
	2年	西野	慶太郎



3月9日 行事予定

- 4日(水) AEA ALT
- 5日(木) 委員会活動 第3回学校運営協議会
- 6日(金) お別れ遠足・6年生を送る会
- 10日(火) 卒業式全体練習
- 11日(水) AEA 牧園中卒業式 卒業式全体練習
- 12日(木) 移動図書
- 13日(金) 命の教育の日 読み聞かせ(校長)
- 14日(土) 土曜授業日 卒業式全体練習
- 16日(月) 卒業式全体練習
- 18日(水) 卒業式予行練習
- 20日(金) 国民の祝日:春分の日
- 23日(月) 卒業式準備 メディアコントロールデー
- 24日(火) 第78回卒業式
- 25日(水) 修了式 大掃除 離任式
- 26日(木) 春休み(~4/7(火)) PTA送別会

かがやけ！持松っ子特別版

努力貯金で3つの花をさかせよう！

《やさしさの花 かしこさの花 たくましさの花》

霧島市立持松小学校

令和8年2月20日(金)



ふるさと霧島カルタ選手権で大活躍!!

立春を過ぎ、春の気配が漂い始めた2月11日、国分ハウジングシビックホールにて「第10回ふるさと霧島カルタ選手権」が開催されました。この節目となる大会に、持松子ども会からも複数のチームが出場。昼休みの練習の成果を存分に発揮しました。

会場に駆けつけてくださった校長先生や担任の先生方の姿を見つけ、子供たちの表情にはパツと明るい笑顔が広がりました。一方で、インフルエンザで欠席した仲間分まで頑張ろうと、一人ひとりが強い決意を胸に畳に向かう姿も印象的でした。1年生から中学生まで、異学年でペアを組み、年上の子が優しくリードしながら楽しそうにカルタを追う姿は、会場の雰囲気をも温かくしてくれました。

大会は熱戦の連続でした。団体戦の準決勝では、なんと「持松同士」の直接対決が実現。日頃から切磋琢磨する仲間だからこそ、一札ごとに真剣な競り合いが展開されました。決勝戦では、強豪チームを相手に一進一退の攻防を繰り広げましたが、結果は12対13。わずかに「一枚」の差で惜しくも準優勝となりました。悔しさが滲む表情を見せながらも、全力を出し切った相手を称え、潔く拍手を送る子供たちの立ち居振る舞いは、結果以上に価値のある素晴らしいものでした。

個人戦でも持松っ子の勢いは止まりません。6年生女子が見事優勝し、1年越しのリベンジを果たしたほか、体験入学中の児童も含め、多くの持松に関わる子供たちが上位入賞を果たしました。

翌日の日記には、早くも「次は団体で優勝したい」と次戦を見据える頼もしい言葉が綴られていました。仲間と支え合う「団結」、そして相手を敬う「礼の心」。この大会を通じて得た心の成長は、

何物にも代えがたい宝物です。温かなご声援をいただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

カルタ大会の日記や作文等から

6年 松田 笑

今日は霧島カルタ大会が昼の1時30分からありました。去年はインフルで休みだったけど今年は行けたのでうれしかったです。

私は、団体戦と個人戦(上学年の部)に出ました。まず団体戦の結果は、準優勝でした。一枚差で負けたので、くやしかったです。個人戦の結果は、優勝でした。とてもうれしかったです。来年は、団体戦の時に優勝することができたらうれしいです。

3年 長友 桜叶

今日は、きり島カルタ大会がありました。

最初に、「カルタアタックル」というチームとたたかいました。最初は、少しペースがおそかったけれど、だんだんと速くなっていきました。そして18対7で勝てました。次のチームにもじゅんちょうに22対3で勝てました。そして、次にたたかうチームを見てみると、九重さんとするなさんのチームとでした。これは準決勝のたたかいたので、ゆずれないたたかいでした。そこも、19対6でまた勝てました。決勝では、中学生くらいの子たちとたいせんしたら、12対13でおしくも負けてしまいました。今日は、準優勝でうれしかったです。来年は優勝をとりたいと思います。

3年 藤倉 九重

今日は、シビックセンターでカルタ大会をしました。1時30分から受付でした。姉ちゃんが選手せんせいをしました。僕が去年勝ったときにもらったトロフィーを返しました。そして、カルタをしました。団体戦では勝ったら3位だったけれど負けてしまいました。くやしかったです。来年もがんばりたいです。

1年 徳永 唯華

きりしまカルタ大かいでさほさんといっしょに2かいたいせんしました。1かい目は6まいと12まいでまけました。たのしかったです。

4年 赤崎 陽菜

昨日、ふるさと霧島カルタ選手権がありました。予選の1回戦は「ヒマワリキッズ」というチームと戦いました。結果は18-7で勝ちでした。初めて勝ったので、次も勝つために本気になってがんばるぞと思いました。2回戦は「カルタアタックル」チームと戦いました。結果は22-3で勝ちでした。続けて勝ったのでみんなで喜びました。そ

の後、体験入学に前来てくれたお友達のおえんに行きました。カルタを取るスピードがとても早くてびっくりしました。

決勝トーナメントの1回戦では「カルタンズ」というチームと戦いました。結果は17-8でまた勝つことができたので優勝できるかもという自信が出てきました。準決勝はなんと「スカイ」チームと戦いました。「スカイ」は持松の友達がいいます。いつも一緒に練習をしていたので、不思議な気持ちでした。また、19-6で勝ちました。スカイチームの分までがんばるぞと思いました。

いよいよ決勝は、「ピクミンキョウダイ」チームです。2人しかいなかったけれど、お姉ちゃんがとても強そうでした。周りのお客さんたちがみんな見に来ました。すこしきんちょうしたけれど、チームのためにがんばろうと思いました。取ったり取られたりのととてもいい勝負になりました。試合が終わって枚数を数えたときに12枚しかなくて負けたことがわかりました。あと、たった1まいだったので、とてもくやしかったです。来年は、他の友達と協力して、もっともっと練習をして優勝したいです。

【個人戦】



【団体戦】



「ようこそ先輩」の授業がありました!

2月14日(土)の3校時に、本校卒業生の「先輩」をお招きして、キャリア教育・郷土教育の一環である「ようこそ先輩」の授業を行いました。今年度講師を務めてくださったのは、持松地区にお住まいの元中学校教諭、中小路治美様です。

お話は、今から50年前の本校の様子から始まりました。当時はまだ木造校舎で、現在よりもずっと児童数が多かったこと、給食がなくお弁当を持参していたことなど、今の子供たちには驚くようなお話ばかりでした。特にお弁当を持ってこれなかった友達に、みんなでおかずを少しずつ分け合ったというエピソードからは、今も昔も変わらない「持松っ子」の優しさを感じ、胸が熱くなりました。

また、中小路様が教師を志したきっかけについても伺いました。中学時代の恩師との出会いや、高校時代の担任の先生からかけられた言葉が、人生の大きな道しるべになったそうです。数学教師として活躍された経験を活かし、最後には子供たちへ算数クイズのプレゼントもあり、全員が真剣な表情で挑戦していました。

「小中学校時代の先生方の名前と顔は今でも忘れない」という言葉に、私たち教職員も、子供たち一人ひとりにとって大切な存在であることを改めて痛感しました。

貴重な時間を割いて、子供たちのために温かなメッセージを届けてくださった中小路様、そして一緒に耳を傾けてくださった保護者の皆様、誠にありがとうございました。この学びを糧に、子供たちが自分たちの郷土に誇りを持ち、自らの夢へと歩みを進めてくれることを願っています。

